

関西学院大学

—全学部対象— AI活用人材育成プログラム —

● このプログラムで学ぶこと

文系・理系を問わず「AI・データサイエンス関連の知識を持ち、それを活用して、現実の諸問題を解決できる能力を有する人材」である「AI活用人材」の育成を目的とする。



大学情報

URL <https://www.kwansei.ac.jp/>
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
TEL 0798-54-6135(入試課)
(平日 8:50~16:50 土曜日 8:50~12:20)



神学部	文学部	社会学部	法学部
経済学部	商学部	人間福祉学部	国際学部
教育学部	総合政策学部	理学部*	工学部*
生命環境学部*	建築学部*	※2021年4月開設	



経験豊富な先生たちに学び、視野は世界へ
AI活用入門の講義やゼミで、日本IBMや国際通貨基金、アジア開発銀行など著名な機関で活躍する先生に学ぶことで、将来は政府系金融機関で働きたいと考えようになりました。

松下 蘭さん
総合政策学部 国際政策学科4年
岡山県立 岡山朝日高校卒



「AI活用人材育成プログラム」の魅力
AIの技術をどう生活の中に生かすか、技術だけでなく、発想力を学ぶことができる講座です。将来、企業に入ったとき、即戦力として役に立つプログラムが魅力ですね。

足立 幸紀くん
理工学部 情報科学科2年/兵庫県 神戸市立葺合高校卒

Mastery for Service スクールモットー

Mastery for Service (奉仕のための練達)
第4代院長・初代学長のC. J. L. ベーツが1912年に高等学部長の時に提唱したスクールモットーは多くの共感を得て、学院全体のスクールモットーとなりました。紛争や飢饉、困難、環境破壊など現代社会が抱えるさまざまな課題に立ち向かい、その解決のために必要な力を養う。それこそがスクールモットーである「Mastery for Service」の意味するところ。関西学院大学では「Mastery for Service」を体現する、創造的かつ有能な「世界的市民」を育成します。



Future 未来へ

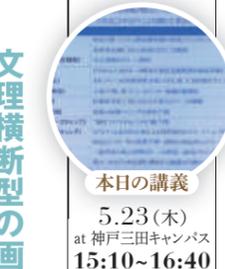
3キャンパス14学部体制がスタート
2021年4月、KSC神戸三田キャンパスは関西最大規模の理工系学部を含む文理横断型キャンパスとなります。新たに誕生する理学部・工学部・生命環境学部・建築学部に加え、リニューアルする総合政策学部を擁するKSC(神戸三田キャンパス)では、学生、教職員が国境や文系・理系学問分野、大学と社会などさまざまな枠を越えた教育に取り組み、境界を越える革新者(Godolless Innovator)の育成を図ります。西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパスの3キャンパス14学部体制がスタートします。
*2021年4月開設



私の学食 オススメメニュー

日替わり定食の「サンキューセット(390円)」は僕の好きなフライ系メニューが多く、小鉢とサラダ、みそ汁がついてガッツリいけます。

足立 幸紀くん



本日の講義
5.23(木)
at 神戸三田キャンパス
15:10~16:40

AI活用入門

この講義で学ぶこと

AIの技術や知識を活用して、社会で役立つ仕組みを考えられる人材を目指し、AIの基礎知識、データサイエンス関連の知識や活用法、社会背景に関する理解などさまざまな内容を学ぶ。理系文系問わず、初心者でも理解できるプログラムが特徴。

文理横断型の画期的な新プログラムで、AIを通じた課題解決を基礎から学ぶ

「AI活用人材育成プログラム」とは、企業や公共機関など実際の社会環境の中で、AIを通じて課題を解決できる人材を育成するという、文理横断型の新しい科目群だ。

「AIとは何か、という基礎に始まり、今後社会で求められる人材、社会背景とAIの活用法を、技術と合わせ学びます」

已波先生は、そう説明してくれた。

全学部が対象の新プログラムでAIを活用できる人材を育成!

已波 弘佳先生に聞きました

Q 今日の講義は、10年後の社会でどのように役立っていますか？

A このプログラムで学べば、どのような仕事であっても環境や役割に応じてAIを活用できるようにできるでしょう。またAIに限らず新技術をどう生かすかという視点を持つようになるため、流行に左右されず、常に社会から必要とされる人材になれるはずです。



Profile

1992年、東京大学理学部数学科卒業。2000年京都大学博士(情報学)取得。2002年、関西学院大学 理工学部 情報科学専任講師。2012年 同教授。現在、学長補佐。大学と日本IBMとのAI共同プロジェクトの統括。世界でも初となるAIを「活用できる」人材の育成プログラムの研究開発を行う。また「KGキャリアChatbot」の開発にも関わる。研究分野は情報科学。研究対象は幅広く、AIや、数学の理論研究からシステムの実用化までさまざま。



このプログラムは文系・理系の学生を対象にしたAIの入門編なので、初心者も混じっている。そのためにAI活用に入る以前の基礎的なデータの取り扱いも勉強する。この日は「AI活用入門」第6回目の講義。基礎の一環

受講生は文系・理系を問わず基本から専門知識までを網羅

現場で課題を解決する「AIユーザ」、そのAIユーザに必要な技術を組み合わせさせたソリューションを提供する「AIスペシャリスト」、これら「AI活用人材」に求められるスキルに焦点を絞っている。実際に企業とコラボしてテーマを設定し、データ分析をして課題を見つけ、ソリューションの提案書をまとめ、プレゼンするまでをチームで取り組む発展演習もある。全10科目を学べば卒業後は各企業で即戦力となる。

としてデータサイエンスについて学ぶ。已波先生が、さまざまな問題解決のためのロジカルシンキング、フレームワークについて、資料を用いながら解説する。

データ解析の基礎的な説明のあと、ロジカルシンキングの一つである「MECE」の課題に取り組んだ。

「MECEを使い、例えば旅行市場に対して商品を企画するとき、個人旅行なのか、海外旅行なのか、ターゲットを明確にし、市場を漏れやダブリなく分類し、法人向け国内旅行」を企画する。AI活用のためには、まず現実の課題を的確に把握できなければなりません。そのスキルもしっかり鍛えます」

このようなスキルも身につけて、後半ではAIアプリの開発も行方。「AIについて未経験でも興味があれば、文系・理系を問わず、どんな受講してほしいですね」と已波先生は語る。

記者の目 関西学院大学は こんな大学

大阪から約1時間。KSC(神戸三田キャンパス)は郊外にある。アカデミックコモンズには学生がつどい、自由に過ごせる空間は、共に学ぶ場として、有意義で魅力的な環境。新たにキャンパスの要素を取り入れた学びの場「Camping Campus」も誕生、また一つ魅力が増えた。

※講義は2019年に取材したものです。